

令和5年度第2回 苫小牧市公共交通協議会

日時 令和5年8月9日(水) 午後3時30分～
場所 苫小牧市役所 職員会館 304号室

次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 報告事項

- 第1号：苫小牧市公共交通協議会委員の変更
- 第2号：令和4年度公共交通関連事業
- 第3号：令和4年度事業報告
- 第4号：令和4年度決算報告
- 第5号：令和4年度監査報告
- 第6号：地方版図柄入りナンバープレートの寄付金活用事業について
- 第7号：市内バス路線再編の今後の進め方等について
- 第8号：バス運賃の上限額改定申請について

(2) 協議事項

- 第1号：令和4年度苫小牧市地域公共交通計画の事業評価（案）
- 第2号：令和5年度事業計画（案）
- 第3号：令和5年度予算（案）

3 そ の 他

4 閉 会

苫小牧市公共交通協議会委員の変更について

公共交通協議会委員の所属人事異動等により、以下の委員の変更が生じたので報告する。

旧		新		備考
北海道中央バス 株式会社 バス事業部 次長	あつや かつとし 厚谷 勝利	北海道中央バス 株式会社 バス事業部 次長	かとう たつや 加藤 達也	人事異動
北海道旅客鉄道 株式会社 苫小牧駅長	こんだ しゅういち 根田 修一	北海道旅客鉄道 株式会社 苫小牧駅長	しみず かずひと 清水 一仁	人事異動
北海道 胆振総合振興局 室蘭建設管理部 苫小牧出張所 所長	やの あきら 矢野 明	北海道 胆振総合振興局 室蘭建設管理部 苫小牧出張所 所長	なかせ ゆみと 中瀬 弓人	人事異動
国土交通省 北海道運輸局 室蘭運輸支局 首席運輸企画専門官	さえき けんいち 佐伯 健一	国土交通省 北海道運輸局 室蘭運輸支局 首席運輸企画専門官	もんま としや 門間 俊也	人事異動
国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所	すすき たけひこ 鈴木 武彦	国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所	にしやま やすゆき 西山 泰幸	人事異動
苫小牧市町内会連合会 副会長	やまはた とよしろ 山端 豊城	苫小牧市町内会連合会 副会長	おしもと たけし 押本 武	役員変更
北海道 苫小牧工業高等学校 教頭	きくち ひろゆき 菊地 裕幸	北海道 苫小牧東高等学校 教頭	みなみかわ りょういち 南川 亮一	変更
苫小牧市 総合政策部 部長	まちだ まさひと 町田 雅人	苫小牧市 総合政策部 参与	しばた けんたろう 柴田 健太郎	変更
-	-	苫小牧市 福祉部	なかむら けいご 中村 圭吾	新規
-	-	苫小牧市 教育部	さいとう たかし 斎藤 貴志	新規

※なお、「苫小牧地区ハイヤー協会」と「苫小牧タクシーチケットサービス」が統合し、「苫小牧ハイヤー協会」に変更となっている。

令和4年度公共交通関連事業について

1 市内路線バス



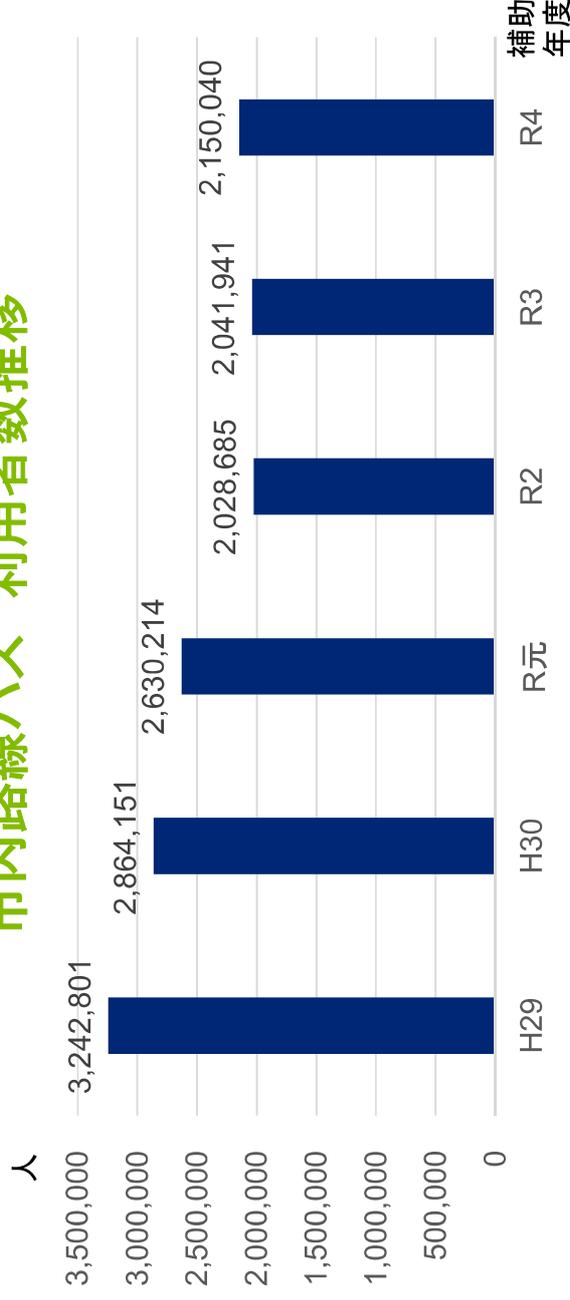
(1) 収支状況(対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)

補助年度	人員(人)	収入(千円)	費用(千円)	収支(千円)
R4	2,150,040	432,016	682,635	▲250,619
R3	2,041,941	426,057	646,560	▲220,503
増減	108,099	5,959	36,075	▲30,116

※ 学生便・臨時便の系統は除く(補助対象外のため)

※ 収入は運賃収入のみで積算

市内路線バス 利用者数推移



1 市内路線バス



※ 参考：路線別収支一覧

路線 番号	路線名	令和4(2022)補助年度				令和3(2021)補助年度			
		人員(人)	収入(千円)	費用(千円)	収支(千円)	人員(人)	収入(千円)	費用(千円)	収支(千円)
01	永福三条線	337,936	60,748	80,376	▲ 19,628	343,745	63,377	80,136	▲ 16,759
02	日新国道線	134,012	24,279	41,717	▲ 17,438	161,745	30,777	50,078	▲ 19,301
03	鉄北北口線	550,665	123,127	139,069	▲ 15,942	523,765	122,169	125,661	▲ 3,492
04	桜坂国道線	17,743	3,347	8,580	▲ 5,233				
10	グリーンヒル団地線	8,991	1,771	2,760	▲ 989	11,050	2,430	2,624	▲ 194
11	澄川歸岡線	154,887	29,595	56,820	▲ 27,225	164,735	32,885	55,438	▲ 22,553
12	川治ときわ線	129,246	25,349	44,344	▲ 18,995	114,767	23,160	44,823	▲ 21,663
13	錦西光洋線	148,139	28,669	47,163	▲ 18,494	137,643	27,751	44,871	▲ 17,120
14	錦西文化公園線	23,160	4,410	6,631	▲ 2,221	11,753	2,784	3,204	▲ 420
15	有珠の沢線	93,414	17,041	29,347	▲ 12,306	89,172	17,074	28,309	▲ 11,235
16	宮の森はまなす線	94,397	17,460	25,801	▲ 8,341	70,707	13,068	23,100	▲ 10,032
17	錦岡線	69,621	14,872	37,929	▲ 23,057	75,014	17,928	37,009	▲ 19,081
18	啓北山手線	18,464	3,252	5,463	▲ 2,211	14,477	2,356	5,323	▲ 2,967
19	はまなす団地線	2,845	597	1,783	▲ 1,186	2,378	532	1,695	▲ 1,163
21	日の出町線	31,022	6,171	5,015	1,156	11,582	2,319	4,915	▲ 2,596
22	市立病院港町循環線	28,763	4,252	15,881	▲ 11,629	30,040	4,569	14,361	▲ 9,792
24	フェリー線	12,062	2,388	4,907	▲ 2,519	6,905	1,509	5,329	▲ 3,820
25	勇払線	145,960	31,737	63,964	▲ 32,227	136,726	30,485	56,633	▲ 26,148
26	沼ノ端線	87,451	17,845	35,465	▲ 17,620	81,045	17,330	34,894	▲ 17,564
30	千歳空港線	55,085	13,770	27,988	▲ 14,218	50,145	12,549	27,375	▲ 14,826
31	苫東工業基地線	6,177	1,336	1,632	▲ 296	4,547	1,005	782	223
	対象路線合計	2,150,040	432,016	682,635	▲ 250,619	2,041,941	426,057	646,560	▲ 220,503

1 市内路線バス



(2) 市路線補助金(対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)

補助 年度	広域生活交通路線 (苦小牧市負担分)			苦小牧市公共交通路線			路線 補助額 (千円) ①+②
	全 系統数 (本)	補助 系統数 (本)	補助額 (千円) ①	全 系統数 (本)	補助 系統数 (本)	補助額 (千円) ②	
R4	9	9	65,031	34	29	57,326	122,357
R3	9	9	68,231	31	22	45,765	113,996
増減	0	0	▲3,200	3	7	11,561	8,361

※ 学生便・臨時便の系統は補助対象外

※ 広域生活交通路線については、北海道の補助制度で、北海道が1/3、市が2/3を負担

※ R4年度は路線の整理により系統数が増えている。

1 市内路線バス



(2) 市路線補助金(対象期間: 令和3年10月1日～令和4年9月30日)



2 樽前予約運行型バス(樽前ハッピー号)



(1) 事業概要

- 平成24年4月から定期路線バスとスクールバスを統合し、予約運行型バスとして運行開始
- 平成25年4月1日から運行区域を拡大し、午前に往復1便ずつ増便

(2) 運行状況(対象期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日)

年度	利用者数(人)			便数(便)							
	一般	樽前小学童	計	平日			土日・祝日	定時便		予約便	
				予定	運行	運行率		予定	運行	運行率	
R4	2,987	6,631	9,618	968	2,904	1,075	37.0%	484	738	61	8.3%
R3	3,517	9,997	13,514	968	2,904	932	32.1%	488	738	76	10.3%
増減	▲530	▲3,366	▲3,896	0	0	143	4.9%	▲4	0	▲15	▲2.0%

2 樽前予約運行型バス(樽前ハッピー号)



(2) 運行状況(対象期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日)



2 樽前予約運行型バス(樽前ハッピー号)

(3) 市委託料

年度	契約 単価 (円/km) ア	実車 キロ (km) イ	運行 経費 (円) ア×イ=①	収入(円)			市委託料 (円) ①-②
				運賃 ウ	国庫補助 エ	計 ウ+エ=②	
R4	304.64	38,947	11,864,814	872,971	3,031,500	3,904,471	7,960,343
R3	285.23	38,171	10,887,514	1,014,828	3,891,000	4,905,828	5,981,686
増減	19.41	776	977,300	▲141,857	▲859,500	▲1,001,357	1,978,657

(4) 樽前予約運行型バス利用促進事業

- ▶ 樽前小学校へ特認制度により通学している児童に対し、道南バス錦西営業所までの通学定期券購入代金の1/2相当額を補助する事業

年度	利用者延数(人)	補助額(円)
R4	70	274,300
R3	56	155,940
増減	14	118,360

3 植苗・美沢地区コミュニティバス(とこバス)

(1) 事業概要

- 平成22年1月から、植苗・美沢地区住民が利用可能な予約運行型バスを運行開始
- 防衛省の再編交付金事業基金を活用して運行
- 利用者宅と市内9か所の停留所間を結ぶ、最大往路3便、復路3便の6便/日を行う
- 利用者からの予約に応じて運行(予約がない場合は運行なし)

(2) 運行状況及び市委託料(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

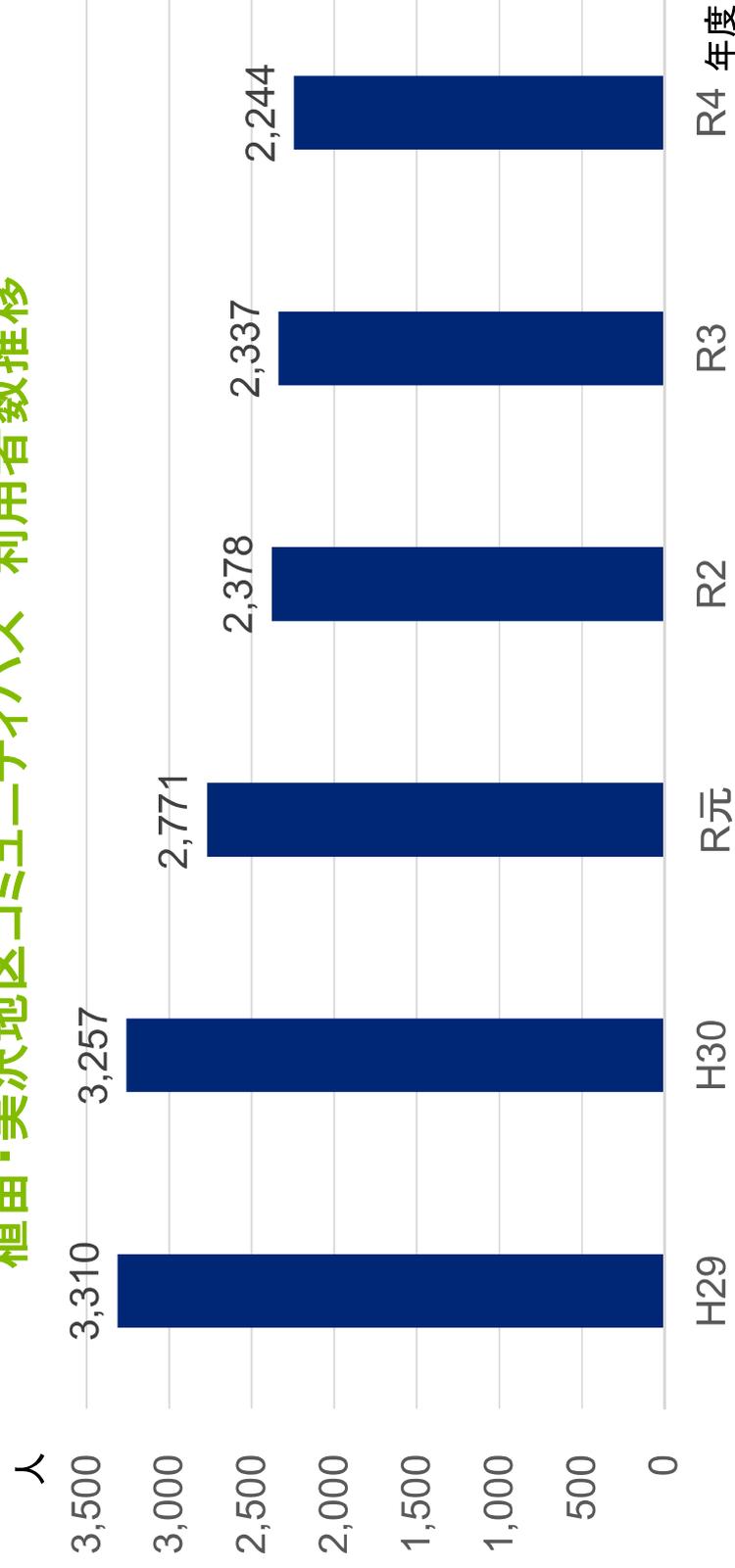
年度	利用者数 (人)	便数(便)		契約単価 (円/便) イ	運行 経費 (円) ア×イ=①	運賃収入 (円) ②	市委託料 (円) ①-②
		最大 運行	実運行 ア				
R4	2,244	2,190	1,013	7,150	7,242,950	186,450	7,056,500
R3	2,337	2,190	1,044	7,150	7,464,600	209,650	7,254,950
増減	▲93	0	▲31	0	▲221,650	▲23,200	▲198,450

3 植苗・美沢地区コミュニティバス(とこバス)



(2) 運行状況及び市委託料(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

植苗・美沢地区コミュニティバス 利用者数推移



令和4年度事業報告

令和4年度の苫小牧市公共交通協議会の事業について、下記のとおり報告する。

(1) 苫小牧市公共交通協議会

第27回（書面会議） 令和4年6月15～24日

【報告事項】

- ・公共交通協議会委員の変更について

【協議事項】

- ・樽前予約運行型バス（樽前ハッピー号）計画申請（案）について

第28回 令和4年7月5日

【報告事項】

- ・公共交通協議会委員の変更について
- ・令和3年度公共交通関連事業について
- ・令和3年度事業報告について
- ・令和3年度決算報告について
- ・令和3年度監査報告について

【協議事項】

- ・令和4年度事業計画（案）について
- ・計画の事業評価（案）について
- ・令和4年度予算（案）について
- ・分科会（案）について

第29回（書面会議） 令和5年1月17～20日

【協議事項】

- ・地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の事業評価（案）について（樽前予約運行型バス運行についての自己評価）

第30回 令和5年2月6日

【報告事項】

- ・公共交通協議会委員の改選について
- ・書面協議の結果について
- ・計画検討分科会の開催について

【協議事項】

- ・市内バス路線再編（素案）について

臨時協議（書面会議） 令和5年3月22～30日

【協議事項】

- ・地方版図柄入りナンバープレートの寄付金活用事業に対する助成事業について

(2) 公共交通利用促進事業

■産学連携事業 【メリークリスマスバス】道南バス株、苫小牧総合経済高校



■乗り方教室

【バスの日イベント】

- ・令和4年9月10日（土）、11日（日）、2022たるまえサンフェスティバルに合わせて「みんなのバスプロジェクト♪2022バスの日 in TOMAKOMAI」と題し、バス車両を用いたバスの乗り方教室や、スマホ操作説明（バスキタ、キャッシュレス決済）を開催した。（主催：道南バス株）



【新中野町内会】

- ・令和4年11月13日（日）、新中野町内会でのバスの乗り方教室を実施した。（主催：道南バス株）



【JR 乗り方教室】

- 令和4年7月6日（水）、勇払小学校にて JR 北海道の夜 JR 乗り方教室を実施した。
- 令和4年7月12日（水）、勇払小学校 1～3年生を対象に、遠足での JR 増車体験及び苫小牧駅舎見学を実施した。



■バスの乗り方動画作成（苫小牧市）

- 路線バス利用促進の取組の一環として、バスの乗り方動画「乗り方編」「マナー編」を作成した。（令和5年2月完成）



（3）苫小牧市地域公共交通計画

- 令和3年6月策定の「苫小牧市地域公共交通計画」に基づく施策の推進を行った。
- 事業終了後、国に実績報告が必要。 ⇒協議事項【議案第2号】

令和4年度会計収支決算書

収入決算総額	1,438,244 円
支出決算総額	718,910 円
差引残額	719,334 円 (次年度繰越金)

(収入の部)

款	項	目	節	当初予算額	決算額	比較増減	説明
1	負担金	1 負担金	-	668,000	668,000	0	苫小牧市負担金
2	補助金	1 補助金	-	0	0	0	
3	繰越金	1 繰越金	-	770,235	770,235	0	
4	諸収入	1 雑入	-	765	9	▲ 756	
合 計				1,439,000	1,438,244	▲ 756	

(支出の部)

款	項	目	節	当初予算額	決算額	比較増減	説明	
1	運営費	1 会議費	1 会議費	-	4,000	0	4,000	
		2 事務費	1 事務費	1 報償費	210,000	55,000	155,000	
				2 旅費	118,800	32,600	86,200	
				3 需用費	65,000	4,700	60,300	水代
				4 役務費	30,000	8,360	21,640	振込手数料等
小 計				423,800	100,660	323,140		
2	事業費	1 事業費	-	1,010,000	618,250	391,750	バス待合施設改修・修繕(補助金)、バスマップ作成	
3	諸支出金	1 諸費	1 償還金	-	0	0		
4	予備費	1 予備費	1 予備費	-	1,200	0	1,200	
合 計				1,439,000	718,910	720,090		

会計監査報告書

令和5年7月31日

苫小牧市公共交通協議会

会長 下夕村 光弘 様

監査員 遠藤 和盛



苫小牧市公共交通協議会の令和4年度会計収支決算及び収支状況について
監査した結果、次のとおり報告いたします。

記

- 1 監査を行った日 令和5年7月31日
- 2 監査を行った場所 苫小牧商工会議所
- 3 監査の結果

収入・支出について、帳簿、支出命令票、領収書等を照合精査したところ、
いずれも正確であった。

また、現金残高についても、貯金通帳と照合したところ、正確であった。

地方版図柄入りナンバープレート寄付金活用事業について

本件について、令和5年3月22～30日（書面会議）にて議決された内容は以下のとおりです。※一部令和5年度追加情報を追記しております。

<助成事業について>

- 本助成事業は、公益社団法人日本デザインナンバー財団が、寄付金を基に、地方版図柄入りナンバープレートの導入地域において交通改善、観光振興等に資する取組の支援を行うことを目的としているものです。

<苫小牧市について>

- 本市においては、今回協議会資料 ページの「地方版図柄入りナンバープレート」について、【第2弾】令和2年5月から導入しております（苫小牧ナンバー）。
- デザインは「通常」「図柄入りモノクロ」「図柄入りフルカラー」の3種類です。

<寄付金について>

- 「図柄入りフルカラー」を選ぶ場合は、1,000円以上の寄付を受け付けており、現在までの本市の助成予算額につきましては、以下のとおりです。

令和3年度：110万8千円

令和4年度：47万6千円

令和5年度：36万5千円 合計：194万9千円

<普及促進計画について>

- 令和4年4月からは、新たに「地方版図柄入りナンバープレート導入要綱」が定められ、普及促進計画及び活動報告の作成、国への提出が追加されました。
- 計画の中には、寄付金の活用方針についても定めることとなっており、本協議会において、具体的な使い道等を協議する必要があります。

<寄付金の使い道について>

- 寄附金の使途については、地域住民がイメージしやすいもの、地域振興、観光振興等に資することとなっており、対象事業は以下のとおり定められています。

助成対象事業（地方版図柄入りナンバープレートの寄付金活用事業助成実施要領第2条第2項）

1. 公共交通の機関等のバリアフリー化に資する事業
2. 公共交通の輸送の円滑化、輸送力の強化に関する事業
3. 公共交通機関等の利便性の向上・観光旅行客の受入れ体制の強化に資する事業
4. 次世代自動車の普及に資する事業
5. 自動車等による交通事故防止対策、被害者救済対策に資する事業
6. 公共交通機関等の維持確保に資する事業
7. 街づくりに資する事業
8. 観光施設・拠点等の保全・整備に資する事業
9. その他、上記事業と一体となって利用者利便の向上、公共の福祉に資する事業

<交付申請について>

- 協議会において議決された本件内容を、公益財団法人日本デザインナンバー財団へ通知します。
- 令和5年8月30日までに、交付申請を行います。

図柄入りナンバープレートとは

【寄付金の活用方針の決定】
 寄付金の活用方針（具体的な使用等）を決定し、
 地域住民に対するPR活動へ活用できるようにする。

- 国土交通省においては、ナンバープレートの多角的な活用を図る観点から、平成29年から図柄入りナンバープレートを導入。
- 今般、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートに続く、全国版図柄入りナンバープレートを令和4年4月18日から交付開始。
- **地方版図柄入りナンバープレートについては、令和4年4月26日から新たな導入地域の募集を開始。**

交付地域の単位	図柄	交付時期	交付手数料 (登録車 中板2枚)	申込件数	寄付金の使途
ラグビー ワールドカップ 特別仕様 ナンバープレート		平成29年 4月3日～ 令和2年 1月31日 ※交付終了	7,080円 ～ 9,200円 〔+1,000円以上〕 の寄付	約292,000件	会場までの輸送力の増強等 ※実績： ・主要駅や空港から会場までの シャトルバス運行事業等(約 5,562万円)
東京2020オリンピック・ パラリンピック競技大 会特別仕様 ナンバープレート		平成29年 10月10日～ 令和3年 11月30日 ※交付終了	7,300円 ～ 9,500円 〔+1,000円以上〕 の寄付	「苫小牧ナンバー」を 令和2年5月から導入 約36,263万 枚の交付 ※交付終了 約345台(約7,342万円)	
地方版図柄入り ナンバープレート		【第1弾】 平成30年10月1日～ (41地域) 【第2弾】 令和2年5月11日 ～ (17地域)	7,380円 ～ 8,740円 〔+1,000円以上〕 の寄付	約265,000件 (41地域) 約54,000件 (17地域) ※令和4年4月末時点	当該地域における自動車交通 サービスの整備・改善 ※実績 令和元年度： ・熊本(約358万円) 令和2年度： ・徳島(約22万円) ・香川(約97万円)
全国版図柄入り ナンバープレート		令和4年 4月18日～ 令和9年 4月30日	7,730円 ～ 9,200円 〔+1,000円以上〕 の寄付	約26,000件 ※令和4年4月末時点	交通サービスの改善・観光振興 等の道路交通環境向上に向け 取り組 た取組

寄付金の活用方針

I. 寄付金の活用方針

1. 協議会設置日	平成24年12月19日
2. 協議会の構成	苫小牧工業高等専門学校（教授） 苫小牧市（総合政策部長） 道南バス㈱（統括部長） 北海道中央バス㈱（次長） あつまバス㈱（次長） 北海道旅客鉄道㈱（苫小牧駅長） 苫小牧地区ハイヤー協会（会長） 苫小牧タクシーチケットサービス（代表） 国土交通省北海道運輸局室蘭運輸支局（首席専門官） 国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧道路事務所（所長） 北海道胆振総合振興局（地域政策主幹） 北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所（所長） 苫小牧市（都市建設部次長） 北海道札幌方面苫小牧警察署（交通官） 苫小牧市老人クラブ連合会（副会長） 苫小牧市町内会連合会（副会長） 苫小牧市社会福祉協議会（常務理事） 北海道苫小牧工業高等学校（教頭）※公立高校持ち回り 苫小牧商工会議所（部長） 北海道地方運輸産業労働組合協議会室蘭地区交運労協（議長代理） 公募委員（2名）
3. 具体的な用途等	①デジタルサイネージ設置 ②乗務員募集ポスター作成 ※詳細別紙

① デジタルサイネージ設置

【実施内容】

・バスロケーションシステムを表示するデジタルサイネージを設置する。

・場所：沼ノ端駅

(南北1台ずつ計2台)



【効果】

・市内11か所に設置済みのデジタルサイネージについて、バス利用者の利便向上に役立っており、追加要望の多い沼ノ端駅に設置することにより、利用者の更なる利便性向上が図られる。

【想定費用】<概算>

・モニター等購入(1台) ... 45万円

※1台はR3.7時点で納品済み

・設置工事費 ... 70万円

◎合計 115万円

【スケジュール】・R5.3.23~30 協議会開催、承認

・R5.4~6 道南バス協議

・R5.6~7 沼ノ端協議(設置確認)

・R5.7~8 交付申請 ⇒ ・R5.10 交付決定

・R5.10~11 サイネージ購入、設置

・R5.11~12 事業完了 ⇒30日以内に実績報告

② 乗務員募集ポスター作成

【実施内容】

・バス、鉄道、タクシーの乗務員募集ポスターを作成し、市内公共機関等に掲出する。



【効果】

・バス、鉄道、タクシー共通ポスターを作成、周知することで、各交通モード間のつながりが生まれ様々な選択肢が見えることで、市内全体の乗務員確保に向けた機運醸成に寄与するもの。

【想定費用】<概算>

・ポスター印刷費 ... 40万円

◎合計 40万円

【スケジュール】・R5.3.23~30 協議会開催、承認

- ・R5.4~6 バス、鉄道、タクシー事業者協議
- ・R5.6~7 ポスター内容検討
委託事業者の検討
- ・R5.7~8 交付申請 ⇒ R5.10 交付決定
- ・R5.11~12 委託事業者の選定、発注
- ・R6.1~2 事業完了 ⇒30日以内に実績報告

市内バス路線再編の今後の進め方等について

■再編スケジュール（予定）について

令和5年8月	計画検討分科会にて、住民への説明の仕方等の協議
令和5年9月	住民への説明及びアンケート調査
	①町内会等個別説明
	・再編による路線、バス停、運行時間帯などの影響が 大きい町内会等を抽出し個別説明
	②住民説明会（市内3か所程度）西、東、中央など
令和5年10月	分科会、協議会開催 （住民からの意見内容と反映状況結果報告） ※住民への説明及びアンケート結果について協議、報告 ※状況等により複数回実施するなどスケジュール調整
令和5年10月～	運輸局へ事前相談開始（事業者） 分科会、協議会開催 ※状況等により複数回実施するなどスケジュール調整
令和5年12月	運輸局へ認可申請（事業者）
令和6年3月	認可後、市民周知を実施（プレスリリース、SNS等）
令和6年4月	循環線の新設を含めた市内バス路線再編を実施

バス運賃の上限額改定申請について

■バス運賃の上限額改定申請について

- 市内路線を運行する道南バス(株)は、令和5年7月19日付で、北海道運輸局へ上限額改定認可申請を提出いたしました。
- 改定予定は令和5年12月1日です。

※道南バス(株)プレス資料は別紙参照

令和4年度苫小牧市地域公共交通計画の事業評価（案）について

「苫小牧市地域公共交通計画」の評価結果（案）（令和4年4月～令和5年3月）

目標		目標を達成するための取組		調査方法	実績 【令和4年度】	事業評価・次年度に向けた課題や取組	備考
指標	現状値	目標値 (令和7(2025)年度)					
【目標1】 利用促進と利便性向上（施策①～④）							
① 鉄道輸送密度	室蘭線：388人/日 日高線：528人/日 (令和元年度)	室蘭線：439人/日 日高線：528人/日	JRアクトシヨンプランにおける輸送密度	JRアクトシヨンプランにおける輸送密度	室蘭線：529人/日 日高線：595人/日	<p>【事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> JRアクトシヨンプランに基づき、利用促進の取組を実施した。 広報紙やSNSでの利用促進、イベント情報の発信（6回） JR乗り方教室（R4.7月～勇払小学校） JRヘルパーウォーカーへの協力（R4.6.12） 市内イベントに合わせた公共交通利用促進ポスターの作成、掲出（5回） <p>【具体的な取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙やSNSでの利用促進、イベント情報の発信（6回） JR乗り方教室（1回） JRヘルパーウォーカーへの協力（R5.5.7、苫小牧駅） JRのイベントに合わせた公共交通利用促進ポスターの作成、掲出（5回） 	
② 路線バスへの路線補助額	5,619万5千円 (令和元年度)	5,619万5千円以内	<p>施策① JR利用促進事業</p> <p>施策② 公共交通路線維持補助事業</p> <p>施策③ 経済的キャッシュレス化</p> <p>施策④ 車両のバリアフリー化</p>	補助実績	<p>広域：65,031千円 市独自：57,326千円 合計：122,357千円</p>	<p>【事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内路線バスを運行する道南バス網に対し、公共交通路線維持補助金を交付した。（額は左記のとおり） コロナ禍による利用者低迷の懸念、燃料費や物価高騰の影響を受け補助額が増加した。（前年度比8,361千円増） たるとるまえるキャンペーンでのバスの日イベント、乗り方教室（R4.9.10～11） キャリアラリアーバスの運行（R4.12.3～25、総経リレーグループバス） 市内バス路線内種案作成（R5.3月） <p>【具体的な取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントの開催の支援（2回） キャリアラリアーバスの運行（1回） バスロケーションシステム「バスキタ1道南」及び運行表示ディスプレイ「デジタルサイネージ」の周知（広報紙、SNS） 市内バス路線再編案の作成（R5.12月） 	<ul style="list-style-type: none"> バスロケーションシステム、デジタルサイネージ導入；R3.7月
③ 路線バス車走歩行km 当たり利用者数	1.17人/km (令和元年度)	1.17人/km	<p>施策⑤ 東西の東幹線交通におけるバス路線の効率化</p> <p>施策⑥ 需要に合わせた運行本数の調整</p> <p>施策⑦ バス停留所の改善</p> <p>施策⑧ 補苀・美沢地区コミュニティバス（とこバス）運行事業</p> <p>施策⑨ 構前予約運行型バス（構前ハッピー号）運行事業</p> <p>施策⑩ 新たなモビリティサービス導入に関する調査研究</p> <p>施策⑪ 障がい者・高齢者等の通院手段の確保（福祉有償運送）</p> <p>施策⑫ 運路地への通学手段の確保（スクールバスなど）</p>	市内路線バス輸送実績（路線バス利用者数×実車走行km）	<p>利用者数：2,150,040人 実車走行km：1,975,277km 当たり利用者数：1.09人</p>	<p>【事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙等を利用したバスの安全や利用促進に関する周知を行った。 <p>【具体的な取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報紙等での周知、乗り方教室の実施など、アフターコロナを見据え、バスの安全や利用促進に関する周知を継続する。 バスロケーションシステムやデジタルサイネージのPRを図る。 	
④ とこバス、構前ハッピー号（毎日）平均乗車人数	とこバス：2.2人 ハッピー号：5.2人 (令和元年度)	とこバス：2.7人 ハッピー号：3.7人		運行実績（利用者数）	<p>とこバス：2.2人 ハッピー号：3.7人</p>	<p>【事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> とこバスについて、運行実績は概ぼはいである。 ハッピー号については、構前小学校の帰学生徒数の変動により、減少している。 <p>【具体的な取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート調査を実施し、利便性向上に取り組み、利用促進による利用者数の増加を目指す。 	

「吉小牧市地域公共交通計画」の評価結果（案）（令和4年4月～令和5年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	実績 【令和4年度】	事業評価・次年度に向けた課題や取組	備考
【目標3】 繁ぎ目のない交通の実現（シームレス化）（施策⑧～⑩）	<p>施策⑧ 若小牧駅の駅前広場及び駅前周辺の一体的な再整備の実施</p> <p>施策⑨ 若小牧駅と各地区の地点を結ぶバス路線の充実</p> <p>施策⑩ 待合施設等の整備</p> <p>施策⑪ 公共施設・商業施設等の屋内バス待合整備</p> <p>施策⑫ 乗り継ぎ利便のためのダイヤ調整</p> <p>施策⑬ 乗り継ぎ案内</p> <p>施策⑭ 各生手地区におけるバス待合整備箇所数</p>	設置箇所数	0箇所	<p>【事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内バス路線再編を見据えた効率的な乗継拠点整備に向けて内部協議を行った。 市内バス路線再編案を作成した。 市内バス路線再編案を道南バス㈱と協議し実施した（3箇所） バス待合所整備を道南バス㈱と協議し実施した（3箇所） <p>【具体的な取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設や商業施設等の協力ののもと、施設内における待合空間、トイレの貸し出し、バス運行情報の提供などの待合環境整備を図る。（2か所） 運行表示ディスプレイ設置（沼ノ端駅） バス待合整備に向けた協議開始（日新町） 	<ul style="list-style-type: none"> 東西基幹軸と支線の乗継拠点となる、複合型生活拠点（沼ノ端駅周辺）及び生手地区（明徳町、日新町、二光町）の快速な待合環境を確保する。 令和5年度に作成する市内バス路線再編案の中核となる乗継拠点を確保する。 待合施設、乗継拠点を確保し、乗継環境の向上を図る。 乗継拠点の確保について整理する。
【目標4】 わかりやすく、安心・便利な交通サービスの提供（施策⑬～⑳）	<p>施策⑬ 公共交通利用講習開催回数・参加者数</p> <p>5回・100名</p> <p>施策⑭ 市内公共交通の市民満足度</p> <p>46.4%（平成28年度）</p>	<p>講習開催回数・参加者数</p> <p>市民アンケート調査</p>	<p>2回・約90名（新町町内会バスの乗り方教室、勇私小学校JR乗り方教室）</p> <p>（令和3年度：44.40%）</p>	<p>【事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新町町内会でのバスの乗り方教室を実施した。 勇私小学校でのJRの乗り方教室を実施した。 <p>【具体的な取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日新町内会でのバスの乗り方教室実施（8月） たまたまサンアンプエスタイルでのバスの乗り方教室実施 小学校でのJRの乗り方教室実施 <p>【事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> バス、JRの乗り方教室を再実施した。 バスに関するお知らせやバスマップを掲載した市内路線バス時刻表の作成、全戸配布 バスロケーションシステム及び運行表示ディスプレイの運用継続、利用促進の実施 <p>【具体的な取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗り方教室を実施する。 利用促進を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> バスの乗り方教室について、令和4年度に作成した乗り方動画を活用する。
【目標5】 広域移動利便・観光振興への貢献（施策㉑～㉓）	<p>施策㉑ 「他都市への乗り継ぎ」などの市民満足度</p> <p>62.1%（平成28年度）</p> <p>施策㉒ 広域移動利便・観光振興への貢献</p> <p>67.10%</p>	<p>市民アンケート調査</p>	<p>（令和3年度：65.30%）</p>	<p>【事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナの影響により、都市間高速バスの一部運休が継続している。 吉小牧駅を中心としたアクセス確保を継続する。 復讐やダイヤに関する市民要望について、事業者と協議を行い、効果的な再編案を作成する。 <p>【具体的な取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> JRへのアクセス確保（1回） 町内会バスの乗り方教室（1回） JR乗り方教室（1回） バスの日イベント（1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート調査実施時期：総合計画策定より5年毎の実施【次回令和8年度】
【目標6】 関係者の協力に基づく計画的な実施（施策㉔～㉖）	<p>施策㉔ 公共交通利用促進イベント開催回数</p> <p>3回（令和元年度）</p> <p>施策㉕ 路線バスの利用頻度（月1回以上の割合）</p> <p>22.0%（令和元年度）</p>	<p>利用促進イベント開催回数</p> <p>市民アンケート調査</p>	<p>1回（日新町内会バスの乗り方教室）</p> <p>（令和5年2月）</p>	<p>【事業評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍からの回復により、乗り方教室等のイベント開催が戻りつつある状況。 JRへのアクセス確保（1回） 町内会バスの乗り方教室（1回） JR乗り方教室（1回） バスの日イベント（1回） <p>【具体的な取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内バス路線再編の令和6年度実施に向けて事業者と協議を行う。 再編について、市民周知を行い、意見をとり入れた再編案を作成する。 バスの乗り方動画を活用した、乗り方教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート調査実施時期：地域公共交通計画更新時に調査を実施【次回令和7年度】

令和5年度事業計画（案）

(1) 「苫小牧市地域公共交通計画」に係る施策推進及び評価

- ・計画に位置付けた全27の施策の推進 →別紙1
- ・計画の事業評価を実施（毎年度実施）

(2) 公共交通利用促進事業

- ・バス待合所施設修繕事業
- ・道南バス(株)⇄高等学校、小学校、幼稚園等による連携事業（産学連携事業）
- ・利用促進ポスター
- ・バスマップの作成

(3) 「苫小牧市公共交通協議会」開催予定

第1回 令和5年6月20～27日（書面会議）

- ・樽前予約運行型バス（樽前ハッピー号）計画申請（案）について

第2回 令和5年8月9日（今回）

第3回 令和5年11月（予定）

- ・市内バス路線再編（案）について

第4回 令和6年1月（予定）

- ・地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の事業評価（案）について（樽前予約運行型バス運行についての自己評価）

第5回 令和6年3月（予定）

- ・市内バス路線再編について
- ・市内路線バス運賃改定について

(4) 「苫小牧市公共交通協議会 計画検討分科会」開催予定

第1回 令和5年6月8日

- ・市内バス路線再編（案）について

第2回 令和5年8月（予定）

- ・住民への説明の仕方等について

第3回 令和5年10月（予定）

- ・市内バス路線再編（案）について
- ・住民説明会の結果等について

※分科会、協議会については、必要に応じて追加開催することがある。

※検討、協議内容により、スケジュールに変更が生じることがある。

苫小牧市地域公共交通計画 実績報告及び次年度スケジュール (案)

施策名	令和5年度				令和7年度まで
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
8 穂苗・美沢地区コミュニティバス (とこバス) 運行事業	●穂苗・美沢地区住民を対象に予約型コミュニティバス(とこバス)の運行を実施 ●苫小牧市穂苗・美沢地区コミュニティバス運行協議会(令和4年5月30日) ●アンケート調査を実施(令和4年7月15日～8月15日)※隔年実施 ●バス停留所「スグワートセンター」の乗降場変更 ●利用者の安全性確保及び利便性向上のため ●事業者と協議及び利用者アンケートによる意見集約を実施 ●沿ノルズボーツセンターと協議し、バス待合所の整備を実施 ●樺前地域を対象に予約運行型バス(樺前ハッピー号)の運行を実施 ●アンケート調査を実施(令和4年9月)	●(継続)買い物や通院の足として、運行を実施し、事業者と協議し、事業内容の改善を図る(アンケートは隔年実施)※令和5年度なし ●長期契約期間満了に伴う入れの実施 ●10月:長期契約期間満了に伴う新規契約(3年間)	●(継続)買い物や通院の足として、運行を実施し、事業者と協議し、事業内容の改善を図る ●(継続)利用者アンケートの実施 ●利用者の要望を元に事業者と協議し改善を図る	●地区住民へのアンケート調査を実施して要望を聞き、事業内容の改善を図りながら運行を継続する。	
9 樺前予約運行型バス(樺前ハッピー号)運行事業	●MaaSの調査研究や実証試験の実施に向けた関係機関等との協議 ●スマートシティ官民連携協議会と連携し、MaaS事業提案事業者との協議を行った ●バスロケーションシステムの導入(令和3年7月) ●デジタルサイネージの導入(令和3年7月)			●地区住民へのアンケート調査を実施して要望を聞き、事業内容の改善を図りながら運行を継続する。	
10 新たなモバイルサービスに関する調査研究	●利用者の通院等の利便性を図るため、NPO法人等による個別輸送サービスを実施 ●件 ●社会福祉協議会による移送サービス事業 ●運転ボランティアによる通院サポートを行う送迎事業 ●樺前地区(令和4年度開始)※令和3年度:実証事業 ●勇払地区(令和3年度開始)	●(継続)「福祉有償運送協議会」における事業の実施 ●社会福祉協議会による移送サービス事業の実施	●自動運転バスの実証運行実施 ●自動運転バスの実証運行について協議、検討を行う	●新たなモバイルサービスの導入などを見据えた苫小牧版MaaS構想を策定する。	
11 障がい者、高齢者等の通院手段の確保(福祉有償運送)	●現任の駅前バス乗り場の維持 ●清掃、除雪、除雪、乗車券内の整備 ●苫小牧駅前周辺ビジョンの策定(令和5年3月)	●「福祉有償運送協議会」における事業の実施 ●社会福祉協議会による移送サービス事業の実施	●(継続)「福祉有償運送協議会」において、事業内容の改善を図りながらサービスを実施 ●(継続)社会福祉協議会との連携による委託試験(案)についての協議及び実施に向けた事業内容の検討を行う	●事業内容の改善等を図りながら輸送サービスの提供を継続する。	
12 遠隔地への通学手段確保(スクールバスなど)	●利用人数70人(延べ人数) ●補助額:274,300円 ●樺前小中学校のスクールバス運行 ●令和5年度から民間委託開始 ●市内路線バスの学生専用便運行	●(継続)「福祉有償運送協議会」における事業の実施 ●社会福祉協議会による移送サービス事業の実施	●(継続)「福祉有償運送協議会」において、事業内容の改善を図りながらサービスを実施 ●(継続)社会福祉協議会との連携による委託試験(案)についての協議及び実施に向けた事業内容の検討を行う	●事業内容の改善等を図りながら輸送サービスの提供を継続する。	
13 苫小牧駅の駅前広場及び駅前周辺の一体的な整備の実施	●現在の駅前バス乗り場の維持 ●清掃、除雪、除雪、乗車券内の整備 ●苫小牧駅前周辺ビジョンの策定(令和5年3月)	●(継続)「福祉有償運送協議会」における事業の実施 ●社会福祉協議会による移送サービス事業の実施	●(継続)「福祉有償運送協議会」において、事業内容の改善を図りながらサービスを実施 ●(継続)社会福祉協議会との連携による委託試験(案)についての協議及び実施に向けた事業内容の検討を行う	●再整備にあたり、バス待合や乗り換え利便性の向上を図る。 ●再整備までの間、現在のバス待合や乗車券、乗り換え機能を維持する。 ●案内の多言語表示、絵文字、統一された分かりやすいサインなど、案内情報のユニバーサルデザイン化を実施する。	
14 苫小牧駅と各地区の拠点を結ぶバス路線の充実	●路線再編について事業者と協議開始 ●令和4年5月から、市と道南バスにて協議を開始 ●令和4年11月22日、苫小牧市公共交通計画検討分科会にて、再編案の協議 ●令和5年2月6日、苫小牧市公共交通協議会にて、再編案の協議 ●重複路線の整理及び循環線新設を含めた、再編案について意見を伺い、再編案について再考した。 ●鉄道事業者、バス事業者において、要望に応じて、鉄道ダイヤとバスダイヤの接続等について調査、検証を行っている。	●協議会開催 ●計画検討分科会開催 ●協議会報告の再編申請(事業者) ●協議会開催 ●再編案作成 ●運輸局への再編申請(事業者)	●協議会開催 ●協議会開催 ●市民周知(広報、SNS等)	●路線及びダイヤの調整により、東西車線における長大バス待ち時間の短縮を図る。 ●バス車庫と運転手の運用効率化を図る。	

苫小牧市地域公共交通計画 実績報告及び次年度スケジュール（案）

施策名	令和4年度【実績】				令和5年度				令和7年度まで
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
24 苫小牧駅からファミリーターミナルへのアクセス確保	●7住復/日 ●市内路線バス「フェリー線（苫小牧駅前～フェリーターミナル）」土日祝日の夜間時間帯（20時台）1往復増便（令和4年4月1日ダイヤ改正）	●7住復/日 ●市内路線バス「フェリー線（苫小牧駅前～フェリーターミナル）」土日祝日の夜間時間帯（20時台）1往復増便（令和4年4月1日ダイヤ改正）	●7住復/日 ●市内路線バス「フェリー線（苫小牧駅前～フェリーターミナル）」土日祝日の夜間時間帯（20時台）1往復増便（令和4年4月1日ダイヤ改正）	●7住復/日 ●市内路線バス「フェリー線（苫小牧駅前～フェリーターミナル）」土日祝日の夜間時間帯（20時台）1往復増便（令和4年4月1日ダイヤ改正）	●フェリーの運転時間に合わせてダイヤ調整を行い、フェリーターミナルへの交通手段を確保する。 ●路線の維持・改善を図り、フェリーターミナルへのアクセスを確保する。	●フェリーの運転時間に合わせてダイヤ調整を行い、フェリーターミナルへの交通手段を確保する。 ●路線の維持・改善を図り、フェリーターミナルへのアクセスを確保する。	●フェリーの運転時間に合わせてダイヤ調整を行い、フェリーターミナルへの交通手段を確保する。 ●路線の維持・改善を図り、フェリーターミナルへのアクセスを確保する。	●フェリーの運転時間に合わせてダイヤ調整を行い、フェリーターミナルへの交通手段を確保する。 ●路線の維持・改善を図り、フェリーターミナルへのアクセスを確保する。	●フェリーの運転時間に合わせてダイヤ調整を行い、フェリーターミナルへの交通手段を確保する。 ●路線の維持・改善を図り、フェリーターミナルへのアクセスを確保する。
25 苫小牧駅から観光施設へのアクセス確保	●臨時バス等の運行 ●とまごまい港まつり（令和4年8月5～7日） ●とるまえサンフェスティバル（令和4年9月10～11日）	●臨時バス等の運行 ●とまごまい港まつり（令和4年8月5～7日） ●とるまえサンフェスティバル（令和4年9月10～11日）	●臨時バス等の運行 ●とまごまい港まつり（令和4年8月5～7日） ●とるまえサンフェスティバル（令和4年9月10～11日）	●臨時バス等の運行 ●とまごまい港まつり（令和4年8月5～7日） ●とるまえサンフェスティバル（令和4年9月10～11日）	●（継続）運行情報について、情報発信を行い、利用促進を図る	●（継続）運行情報について、情報発信を行い、利用促進を図る	●（継続）運行情報について、情報発信を行い、利用促進を図る	●（継続）運行情報について、情報発信を行い、利用促進を図る	●（継続）運行情報について、情報発信を行い、利用促進を図る
26 苫小牧市公共交通協議会の開催	●第27回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和4年6月15日24日） ●第28回苫小牧市公共交通協議会開催（令和4年7月5日） ●第29回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年1月17～20日） ●第30回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年2月6日） ●臨時開催苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年3月22日）	●第27回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和4年6月15日24日） ●第28回苫小牧市公共交通協議会開催（令和4年7月5日） ●第29回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年1月17～20日） ●第30回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年2月6日） ●臨時開催苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年3月22日）	●第27回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和4年6月15日24日） ●第28回苫小牧市公共交通協議会開催（令和4年7月5日） ●第29回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年1月17～20日） ●第30回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年2月6日） ●臨時開催苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年3月22日）	●第27回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和4年6月15日24日） ●第28回苫小牧市公共交通協議会開催（令和4年7月5日） ●第29回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年1月17～20日） ●第30回苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年2月6日） ●臨時開催苫小牧市公共交通協議会開催（書面会議）（令和5年3月22日）	●（継続）定期的な協議会開催のより、計画の取組状況についての報告や毎年度の事業評価を行う	●（継続）定期的な協議会開催のより、計画の取組状況についての報告や毎年度の事業評価を行う	●（継続）定期的な協議会開催のより、計画の取組状況についての報告や毎年度の事業評価を行う	●（継続）定期的な協議会開催のより、計画の取組状況についての報告や毎年度の事業評価を行う	●（継続）定期的な協議会開催のより、計画の取組状況についての報告や毎年度の事業評価を行う
27 モビリティマネジメントの推進	●広輪とまごまい10月号に公共交通利用促進記事掲載 ●産学連携事業 ●バス乗りの方教室 ●バスの日イベント（令和4年9月10～11日） ●新中野町内で「バスの乗りの方教室」を実施（令和4年11月13日） ●JR乗りの方教室 ●勇弘小学校（令和4年7月6日、12日） ●バスの乗りの方動画作成（令和5年2月） ●道南バス線、苫小牧ケーブルテレビ協力による乗りの方動画を作成	●広輪とまごまい10月号に公共交通利用促進記事掲載 ●産学連携事業 ●バス乗りの方教室 ●バスの日イベント（令和4年9月10～11日） ●新中野町内で「バスの乗りの方教室」を実施（令和4年11月13日） ●JR乗りの方教室 ●勇弘小学校（令和4年7月6日、12日） ●バスの乗りの方動画作成（令和5年2月） ●道南バス線、苫小牧ケーブルテレビ協力による乗りの方動画を作成	●広輪とまごまい10月号に公共交通利用促進記事掲載 ●産学連携事業 ●バス乗りの方教室 ●バスの日イベント（令和4年9月10～11日） ●新中野町内で「バスの乗りの方教室」を実施（令和4年11月13日） ●JR乗りの方教室 ●勇弘小学校（令和4年7月6日、12日） ●バスの乗りの方動画作成（令和5年2月） ●道南バス線、苫小牧ケーブルテレビ協力による乗りの方動画を作成	●広輪とまごまい10月号に公共交通利用促進記事掲載 ●産学連携事業 ●バス乗りの方教室 ●バスの日イベント（令和4年9月10～11日） ●新中野町内で「バスの乗りの方教室」を実施（令和4年11月13日） ●JR乗りの方教室 ●勇弘小学校（令和4年7月6日、12日） ●バスの乗りの方動画作成（令和5年2月） ●道南バス線、苫小牧ケーブルテレビ協力による乗りの方動画を作成	●（継続）公共交通利用促進に係る市民周知を行う ●（継続）産学官連携のキャラリーバス運行を実施し、公共交通の利用促進を図る	●（継続）公共交通利用促進に係る市民周知を行う ●（継続）産学官連携のキャラリーバス運行を実施し、公共交通の利用促進を図る	●（継続）公共交通利用促進に係る市民周知を行う ●（継続）産学官連携のキャラリーバス運行を実施し、公共交通の利用促進を図る	●（継続）公共交通利用促進に係る市民周知を行う ●（継続）産学官連携のキャラリーバス運行を実施し、公共交通の利用促進を図る	●公共交通利用促進キャンペーンを継続し、利用促進を図る。 ●広報紙やSNSを活用した情報発信を継続し、利用促進を図る。

令和5年度 苫小牧市公共交通協議会 予算（案）

収入予算総額 1,388,000 円
 支出予算総額 1,388,000 円
 差引予算残額 0 円

（収入の部）

款	項	目	節	R5年度 予算額	R4年度 予算額	対前年度増減額	説明
1	負担金	1 負担金	-	668,000	668,000	0	苫小牧市負担金
2	補助金	1 補助金	-	0	0	0	
3	繰越金	1 繰越金	-	719,334	770,235	▲ 50,901	
4	諸収入	1 雑入	-	666	765	▲ 99	預金利息
合 計				1,388,000	1,439,000	▲ 51,000	

（支出の部）

款	項	目	節	R5年度 予算額	R4年度 予算額	対前年度増減額	説明	
1	1	会議費	1 会議費	-	4,000	4,000	0	会場使用料 (4,000円×1回)
		2	事務費	1 報償費	1 報償費	135,000	210,000	▲ 75,000
	2 旅費			2 旅費	99,000	118,800	▲ 19,800	6,600円×15名(延べ人数) (協議会3名×3回)(分科会2名×3回)
	3 需用費			3 需用費	65,000	65,000	0	消耗品費・食糧費(水代) 計画推進のための消耗品費として増額
	4 役務費			4 役務費	30,000	30,000	0	振込手数料等
小 計				329,000	423,800	▲ 94,800		
2	1 事業費	1 事業費	-	1,055,000	1,010,000	45,000	バスマップ作成、バス待合所修繕等	
3	1 諸費	1 償還金	-	0	0	0	苫小牧市負担金の返還等	
4	1 予備費	1 予備費	-	0	1,200	▲ 1,200	計画推進に係る費用として活用予定	
合 計				1,388,000	1,439,000	▲ 51,000		